

リョービグループ 環境データ 2021

マテリアルバランス

INPUT

原材料

アルミニウム合金・・・113,988t
 アルミスクラップ・・・15,326t
 鋼材・・・・・・・・・・・・10,973t
 プラスチック 他・・・・5,140t

エネルギー使用量

電気・・・・・・・・156,422千kWh
 都市ガス・・・・・・・・8,064千m³
 液化天然ガス(LNG)・・・3,147t
 液化石油ガス(LPG)・・・1,596t
 油類(原油換算)・・・・5,269kl

水使用量

上水・・・・・・・・123千m³
 地下水・・・・・・・・990千m³

PRTR法対象化学物質

取扱量・・・・・・・・21t

2021年度
 国内実績
ダイカスト



建築用品



印刷機器



OUTPUT

製品

ダイカスト製品・・・・91,502t
 ダイカスト用金型・・・・3,611t
 アルミニウム鋳物等・・・13,533t
 プラスチック製品・・・・2,378t
 アルミニウム合金・・・・15,691t
 ドアクローザ・・・・216,792台
 印刷機・・・・847ユニット

温室効果ガス

CO₂ 排出量・・・・125,047t-CO₂

廃棄物

廃棄物・・・・7,152t

排水量

排水量・・・・775千m³

PRTR法対象化学物質

大気への排出量、移動量・・・6t

環境パフォーマンスデータ

CO₂削減への取り組み

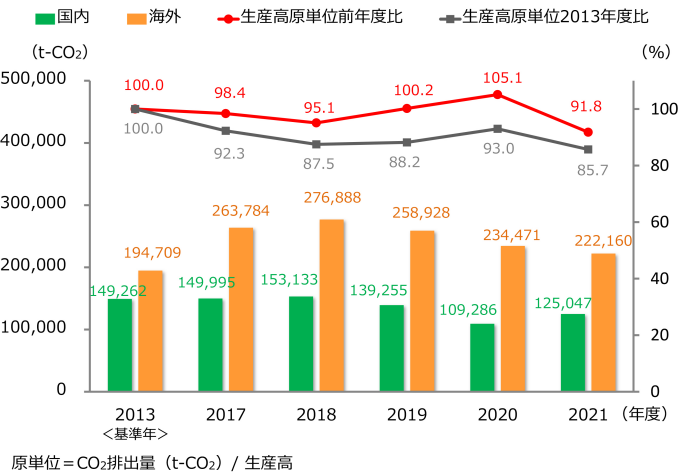
さまざまな省エネルギー施策を実施し、CO₂排出量生産高原単位を削減

2021年度は、「CO₂排出量生産高原単位を2013年度比で13%削減する」「CO₂排出量生産高原単位を前年度比1%削減する」という2つの目標を掲げて取り組みました。

2021年度のCO₂排出量生産高原単位は、2013年度比85.7%（14.3%の削減）、前年度比91.8%（8.2%の削減）となりました。

ダイカスト製品の熱処理の改善、鑄造機保持炉の放熱防止、コンプレッサーの効率的な利用およびエアリーク改善など、さまざまな省エネルギー施策を実施することで原単位の改善に努めています。

CO₂排出量の推移

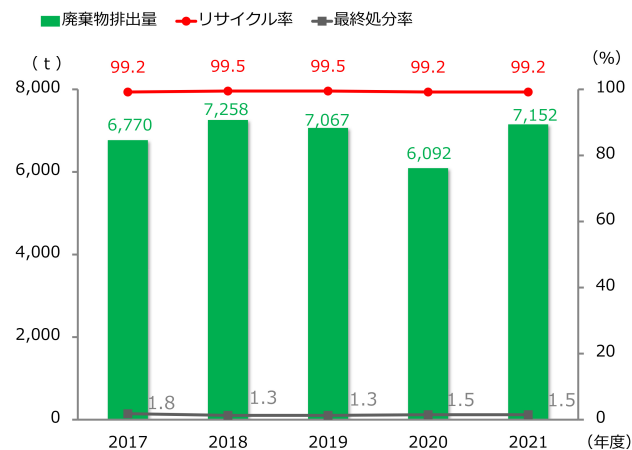


廃棄物への取り組み

埋め立て処理が必要な廃棄物の排出量を削減

2021年度の国内の廃棄物排出量は7,152tとなりました。廃棄物の分別の徹底により埋め立て処理される廃棄物の排出量を減らすことで、リサイクル率は99.2%、最終処分率は1.5%となりました。

廃棄物排出量の推移



$$\text{リサイクル率} = \frac{\text{C再資源化量}}{\text{A廃棄物排出量} + \text{B有価物量}}$$

$$\text{最終処分率} = \frac{\text{D最終処分量}}{\text{A廃棄物排出量}}$$



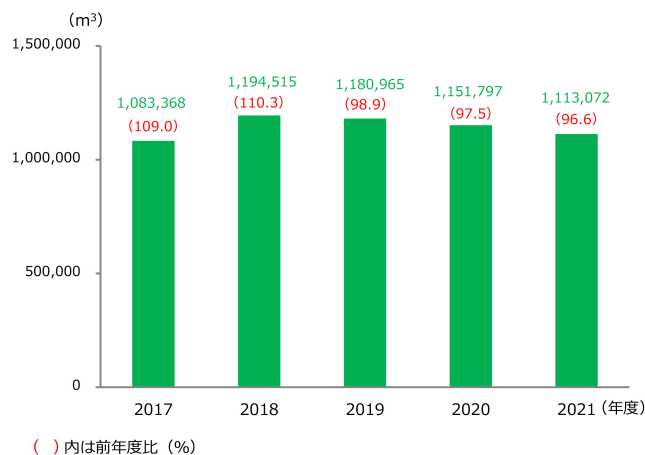
水資源の効率利用への取り組み

水使用量の削減の取り組みを継続

2021年度の国内の水使用量は、約1,113千 m^3 となりました。

工業用水の循環利用や流量計確認による漏水への早期処置対応など、使用量を適切に管理することで使用量の削減に取り組んでいます。

水使用量の推移



物流関連への取り組み

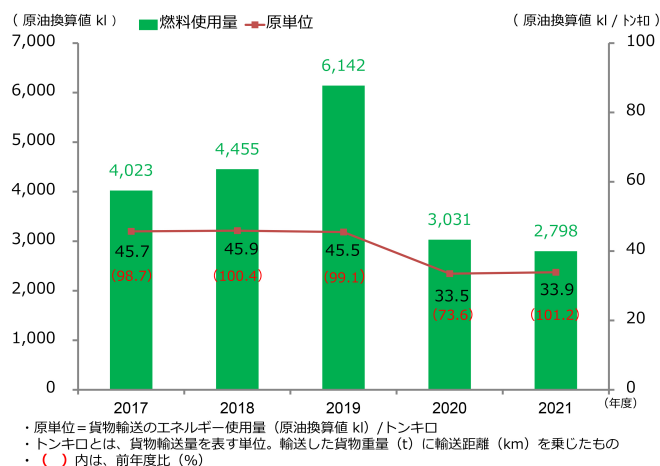
効率的な物流システムの構築を推進

エネルギー使用の合理化を目的とし、貨物輸送に関するエネルギー(燃料)の使用量の削減、効率的な物流システム構築を進めています。

2021年度の国内の貨物輸送に関するエネルギーの使用量は、原油換算値で2,798klとなりました。また、1tの貨物を1km運搬するのに要する原油量(原単位)は、1.2%増加しました。

出荷拠点の見直しによる輸送距離の短縮、荷姿の見直しによる積載効率の向上、無駄な倉庫間の移動の削減などにより、輸送の効率化に取り組んでいます。

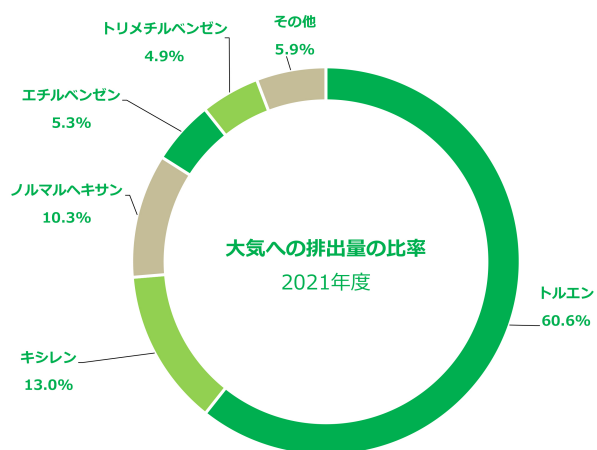
貨物輸送に関するエネルギー(燃料)使用量の推移



有害物質への取り組み

有害物質の大気中への排出量を削減

2021年度の国内のPRTR法対象化学物質の大気中への排出量は5.8tとなりました。



PRTR法対象化学物質排出量の推移

